

パックの使用方法ですが色々な使い道があります。

パックは大きいですから就寝時に付けて下さい。写真の場所は顔と脳に関係するツボですから肌は綺麗になります。サポーターを付ければ24時間付けられます。昼間は携帯用を用いて下さい。内容は同じですから十分効果があります。又、昼間しない方は大きいパックをカラー面を上にしてどこでも置くだけでテロメアの波長が部屋全体に及びますから十分効果がありますのでご利用下さい。ご家族で食事などされるとき、その部屋に置くだけで全員波長を受けられますからご利用下さい。他に次のような使い方ができます。

腰が痛いときには腰に直接当てます。腰専用のベルト(布袋)があります。このベルトなら背中ならどこでも使えます。ご自分で作られても良いと思います。布は必ず純綿の生地を用いて下さい。

- ① 胸苦しいときは、苦しいと思う場所にパックを当ててください。
- ② 膝の上とか膝の裏が痛いときには、痛い場所にパックを当ててください。夜寝ているときに落ちる場合がありますから膝サポータ等で抑えればずれません。
- ③ とにかく痛い場所に付ければ良いのです。(これには筋力活性化のはいっているパックが必要です。)
- ④ パックは身体のどこでも悪い場所に当てることにより、即効性がえられます。
- ⑤ パックの布袋は汚れたら洗濯して下さい。中には「**パックの布袋も5年持つのか**」といわれた方がおられますが、**中味のパックは持ちますが、布袋やベルトの部分は使用頻度により劣化しますから作り直すか買い換えて下さい。**
- ⑥ 風邪気味の時は、背中の首の下から背骨の所と胸にに当てて下さい。よく寒気がするとき背中の上の方がゾンゾンしますね。そこに当てて下さい。
- ⑦ 頻尿の方は腰のやや上(腎臓の所)に当てて寝て下さい。
- ⑧ 携帯用パックも、部分的に痛いところや違和感のあるところにガーゼ1枚で包み、カラーのほうを当てテーピングかバンソウコで貼って下さい。直接当てると汗などで酸化する事があります。カラーは大丈夫ですが、アルミ部分が剥がれてきますのでガーゼが必要です。
- ⑨ 心臓に違和感や動悸があるときには、パックをそこに当てて下さい。治まります。

※腰専用のベルト(布袋)は当院でも取扱いしております。お気軽にお申し付け下さい。